

令和4年8月
長野県アイスホッケー連盟
国体強化委員会
国体強化委員長 酒井大輔

令和4年度
長野県アイスホッケー競技国民体育大会選手選考（成年）基準

1, 趣旨

国民体育大会開催基準要項及び国民体育大会開催基準要項細則に基づき、長野県のアイスホッケー競技力の向上と適正な選手選考を行うために策定したものである。この基準は国民体育大会に参加しようとする者に対して事前に理解を得て選考に挑んでもらうためのものであり、長野県在住者のみならず参加資格のある長野県外在住者にも周知徹底を図るため、長野県アイスホッケー連盟ホームページにも公開するものとする。

2, 対象となる選手の条件【選考基準】

- ① 長野県在住（主たる居住地）、またはふるさと登録の者、または国体基準要項細則の定める特例措置にあてはまる者（詳細は日体協開催基準参照）
 - (1) 社会人：長野県に在勤・在住している者。
 - (2) 大学生：長野県の小学校・中学校・高等学校卒業後、他県他国で登録しているが、ふるさと選手制度で登録を行い、長野県代表選手として参加する意思がある者。
※ふるさと登録については社会人にも適用される。
- ② 健康上競技に支障のない者。（健康診断書の提出を依頼する可能性あり）
- ③ ドーピングをしていない者。（ドーピング検査の要求を断らない者）
- ④ 長野県を代表する選手として自覚と責任の持てる者。
- ⑤ 当連盟（国体強化委員会）の定める大会及び選考事業、強化事業に参加できる以下の者。

- (1) 運動量が豊富（スタミナがあると思われる）である。
- (2) 基本スキルが高い（パス・シュート・レシーブなど）。
- (3) 協調性がある（for the Team）。
- (4) 試合に向けての自己管理が徹底できる。
- (5) ネガティブ（あきらめたプレーをしない）にならない。
- (6) 長野県代表として継続的に【出場】したい意思がある。
- (7) 国体代表選手として合宿・練習に参加する意思がある。
- (8) 指導者の【指示】をよく理解できる。

- ⑥ 大学生は所属チームで相当のアイスタイムを獲得し、その経験を県代表でも還元できる可能性をもつ者。ただし、所属チームの戦うリーグのレベルを考慮する。
- ⑦ 選考時必要な参加費、及び大会出場経費が不足した場合、若干の個人負担ができる者。
- ⑧ ブロック大会出場選考資格については、長野県の強化事業等に参加しているものとする。
※大学生に限り国体強化委員会の判断で除外することもある。
- ⑧ 本大会出場選考資格については、ブロック予選会に参加または登録しているものとする。

3、選考結果

原則、県からの公式発表（信濃毎日新聞など）をもってメンバー発表とする。
ただしスケジュール調整のため、内定選手には事前に内定である旨を個別に連絡する。
その他、事前確認が必要な選手は酒井までお問い合わせください。

4、その他

上記基準はあくまでも最低ラインの基準になります。最終的な決定はチームスタッフで協議した上で監督の酒井が行います。よって最低限の結果を出せなかった場合（本大会ベスト8以上）、その責任は全て監督にあると判断し、監督職を辞します。

以上、引き続き長野県の国体強化に向けてご協力お願いいたします。